

## 競技かるた部「かるた甲子園」出場

### 活動費を支援

我が競技かるた部は、2016年7月22日ついに念願であった滋賀県近江神宮入りを果たしました。近江神宮は言わずと知れたかるたの聖地、明日から始まるかるた甲子園の舞台であります。

かるた部一行は、まずは開会式の会場になる近江神宮本殿を参拝し、全国大会での活躍を祈願しました。その後、決戦の場となる勸学館に移動。そこで予選トーナメント戦の組み合わせを決める抽選会に臨みました。1回戦の相手は、本家野球の甲子園でもお馴染みの智辯学園和歌山高校。野球部に負けじと腕を磨いてきた強豪校であります。決勝トーナメントに進出するためには、この智辯和歌山戦を含め、3連勝しなければなりません。海城が入ったBブロックはなかなかの激戦区のようなので。生徒たちはライバルに臆することなく、明日の団体戦に闘志を燃やしています。持てる力を存分に発揮し、勝利を重ねてくれることを信じています。





23日、ついに高校選手権団体戦の幕が切って落とされました。

第1試合は昨日お伝えした通り、智辯学園和歌山高校。緊張の初戦ですが、これを海城高校は5-0の快勝。ほとんどの選手が10枚以上の差をつける束勝ちと、さすがの強さを見せつけます。第2試合、相手は中津南高校、大分県代表です。この中津南高校、一昨年の準優勝校で、メンバーはA級選手4人、あとはすべてB級選手、しかも三段の選手が二人、という今回の出場校の中でも確実に優勝争いをすると目されている強豪です。

あれほど厳しい東京都予選をやっと勝ち抜き、全国でもいいところまで進めるに違いない、との期待を持ってやってきた近江神宮で、なんと厳しい当たりとなってしまったことかと、対戦が決まったときには頭を抱える思いでした。

下馬評では5敗ストレート負けもありえるとされた対戦だったと思います。しかし、海城はその予想をはるかに超える健闘を見せました。

高2鹿野が12枚差、高2渡邊(慶)が8枚差で勝ち星を挙げての2-2、勝負を託されたのは高2鈴木(虎)で、A級選手の副将を相手に一步も退かず、最後は運命戦にまで持ち込んで、たったの1枚差での敗退となりました。

これほどの僅差となると、悔しさもひときわで、試合後は皆それぞれの思いに涙を流しましたが、「来年はもっと強くなって、全国出場じゃない、全国優勝を目標にする」と、高2部長板垣を中心に、今後一層の努力を誓いました。

2回戦敗退という結果は満足いくものではありませんでしたが、この結果以上に、彼らの得たものは大きかったようです。顧問としても、厳しい戦いを前にして、メンバーの誰一人として気持ちの上で負けていなかった様子を目の当たりにして、改めて彼らの強さの底にあるものが実感される思いでした。



開会式～入場行進です～





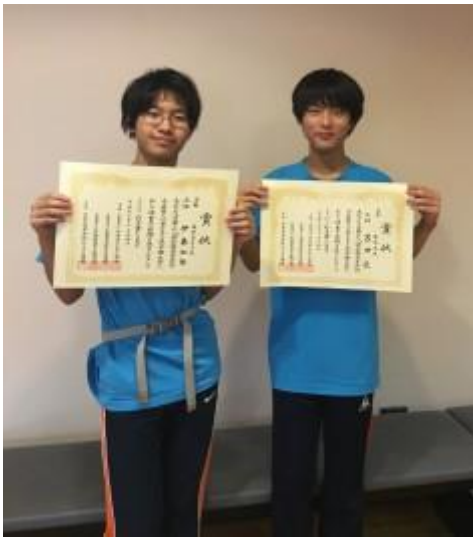
B 級 1 優勝の高 2



B 級 3 優勝の高 2



B 級 4 優勝の高 3



D 級 3 位の高 1





閉会式後の記念撮影です。表彰ラッシュになりました。



来年も必ずまた来ます。